

超高齢・人口減少時代の「自治体」生き残りー「人口」の創生戦略

未来への投資としての人口政策

一人手(人口)・人材(人財)不足下の移住・定住ビジョンと方策

～シティプロモーションの活用と外国人定住化推進施策の実践と成果～

- [千葉・流山市] 「母になるなら、流山。」のプロモーションーその戦略と実現手法、成果
- [静岡・あらまほし] 外国人が活躍できるまちづくりー一定住化の仕組みづくりと実践
- [広島・安芸高田市] 自治体消滅危機感からの「多文化共生」の施策化とまちづくり

2018年3月26日(月) 10:00~16:50 剛堂会館・会議室(東京・千代田区)

- 【講師陣】
- 河井 孝仁** 氏 / 東海大学文学部広報メディア学科教授
 - 河尻 和佳子** 氏 / 千葉・流山市総合政策部マーケティング課
メディアプロモーション広報官
 - 戸田 佑也** 氏 / 株式会社あらまほし代表取締役(静岡県)
 - 明木 一悦** 氏 / NPO 法人安芸高田市国際交流協会理事 事務局長(広島県)

【参加要領】

■会場：剛堂会館・会議室
東京都千代田区紀尾井町3-27
(案内図は申込後送付)

■参加費(1名分)

	1名参加	2名以上参加
行政・議員	25,000円	24,500円
一般	35,000円	34,000円

参加費の払い戻しは致しませんので、申込後にご都合が悪く欠席される場合には代理の方の出席をお願い致します。

■支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い
みずほ銀行麹町支店 普通1159880
三井住友銀行麹町支店 普通7411658
三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767
郵便振替：00110-8-81660 口座名：(株)地域科学研究会

■申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
(FAX・郵送・メール等)

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ



東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082
<http://chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書】 FAX : 03-3234-4993 Email : machi@chiikikagaku-k.co.jp 2018年 月 日

■研修会『未来への投資としての人口政策』への参加 当日参加 ※メディア参加はありません

勤務先 _____ 連絡担当者 _____

所在地 〒 _____ TEL _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____ FAX _____

_____ Email _____

(通信欄) ○を付けて下さい
支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)
必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)
請求書等宛先名: _____

時	講義内容
10:00 ～ 11:25	<p>地域の担い手を創るシティプロモーション ～人の移住・定住に向けた自治体の推進体制～</p> <p style="text-align: right;">東海大学文学部広報メディア学科教授 河井 孝仁 氏</p> <p>1. シティプロモーションが求められる背景 2. 担い手とは誰か 3. 地域参画総量という発想</p> <p>4. 地域魅力創造サイクルによるブランド形成 5. 支援としてのメディア活用戦略モデル 6. シティプロモーションの推進体制と評価</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <hr/> <p>【河井 孝仁(かわいたかよし)氏プロフィール】 博士(情報科学・名古屋大学)。静岡県職員、静岡総合研究機構研究員を経て現職。専門は、行政広報論、シティプロモーション、地域情報論。公共コミュニケーション学会会長理事、日本広報学会常任理事、社会情報学会理事、総務省地域情報化アドバイザー、(社)日本広報協会広報アドバイザーなどを務める。『シティプロモーションでまちを変える』(彩流社)、『「失敗」からひも解くシティプロモーション』(第一法規)など著書多数。</p>
11:35 ～ 13:00	<p>人口減少時代の流山市の戦略 ～「母になるなら、流山市。」のプロモーション～</p> <p style="text-align: right;">流山市総合政策部マーケティング課 メディアプロモーション広報官 河尻 和佳子 氏</p> <p>1. 自治体とマーケティング (1)自治体をとりまく現状 (2)自治体も経営の視点が必要</p> <p>2. 魅力発信のコツ (1)強みを知り、誰にどのように発信するか (2)これまでの行政広報との違い</p> <p>3. 魅力発信のその先 (1)シビックプライド醸成とは (2)アドボケイターの存在</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <hr/> <p>【河尻 和佳子(かわじりわかこ)氏プロフィール】 民間企業で14年間、営業、マーケティング等を担当。流山市のまちを売り込むための任期付職員公募に応募し、前例のない自治体マーケティングの道に入る。首都圏を中心に話題となった「母になるなら、流山市。」広告展開や、母の自己実現を応援する「そのママでいこうproject」、年間13万人を集客する「森のマルシェ」の企画・運営などを手掛ける。講演、執筆ほかTV、ラジオ、雑誌等メディア出演多数。</p>
13:50 ～ 15:15	<p>未来への投資としての定住外国人の受入れ ～外国人が活躍する社会に向けた仕組みづくり～</p> <p style="text-align: right;">(株)あらまほし代表取締役 戸田 佑也 氏</p> <p>1. 外国人住民の増加する地方都市 3. 事例紹介:活躍する定住外国人</p> <p>2. 企業に求められる外国人とマッチングの課題 4. 外国人が活躍しやすい仕組みづくり</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <hr/> <p>【戸田 佑也(とだゆうや)氏プロフィール】 株式会社あらまほし代表取締役。地方創生に向けた政策コンサルティングなどに取り組んでいる。一般財団法人未来を創る財団「定住外国人政策研究会」メンバーとして、「定住外国人の受け入れ」に関する提言の検討に携わった。その他、第2次掛川市多文化共生推進プラン策定市民委員(2015年度)、掛川観光協会掛川支部理事(2016～17年度)などを歴任。毛受敏浩編著『自治体がひらく日本の移民政策』(明石書店)を共著者の一人として執筆。</p>
15:25 ～ 16:50	<p>「自治体消滅」危機感からの「外国人と共生」まちづくりの推進 ～日本の将来を先取りした多文化共生施策と定住外国人口の開発～</p> <p style="text-align: right;">NPO法人安芸高田市国際交流協会理事 事務局長 明木 一悦 氏</p> <p>1. 安芸高田市の人口問題 (1)人口の減少 (2)深刻な企業の人手不足</p> <p>2. 自治体存亡への危機感と対応策 (1)安芸高田市の存続と人口の問題 (2)定住外国人と「人口」対策 (3)人権多文化共生推進課の設置 (4)安芸高田市国際交流協会の活動</p> <p>3. 外国人定住化推進への取り組み (1)住まい確保への支援 (2)企業就業者の定住化 (3)外国人コミュニティの形成支援 (4)地域のまちづくりへの参加の推進</p> <p>4. 今後の展望～「外国人と共生」する安芸高田市のまちづくりへ～</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <hr/> <p>【明木 一悦(めいきかずよし)氏プロフィール】 大学卒業後、海外での勤務等を経て、1990年日本国内で外資系勤務を始め、虹の会に参加し外国人生活相談会活動を行う。2002年より地方議会議員として活動したのち、2011年東日本大震災を受け、「安芸陸前高田夢応援団」を設立。陸前高田市でボランティア活動に従事。また、安芸高田市より多文化共生推進員を任命され活動を開始し、2013年安芸高田市国際交流協会事務局長に就任。熊本大震災では多言語支援センター設置に尽力した。NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会理事也。</p>